

令和4年度第2回 介護・医療連携推進会議

令和4年12月13日(火)

定期巡回型訪問介護・看護サービス紹介



ホームヘルプステーション北星

計画作成担当者:中西

定期巡回・随時対応型訪問 介護看護サービスとは？

住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、地域の包括的な支援として位置づけられています。

定期巡回と随時訪問・緊急対応を組み合わせた24時間365日切れ目ないサービスを提供します。

弘前市で定期巡回型訪問介護を実施しているのは当社のみです。

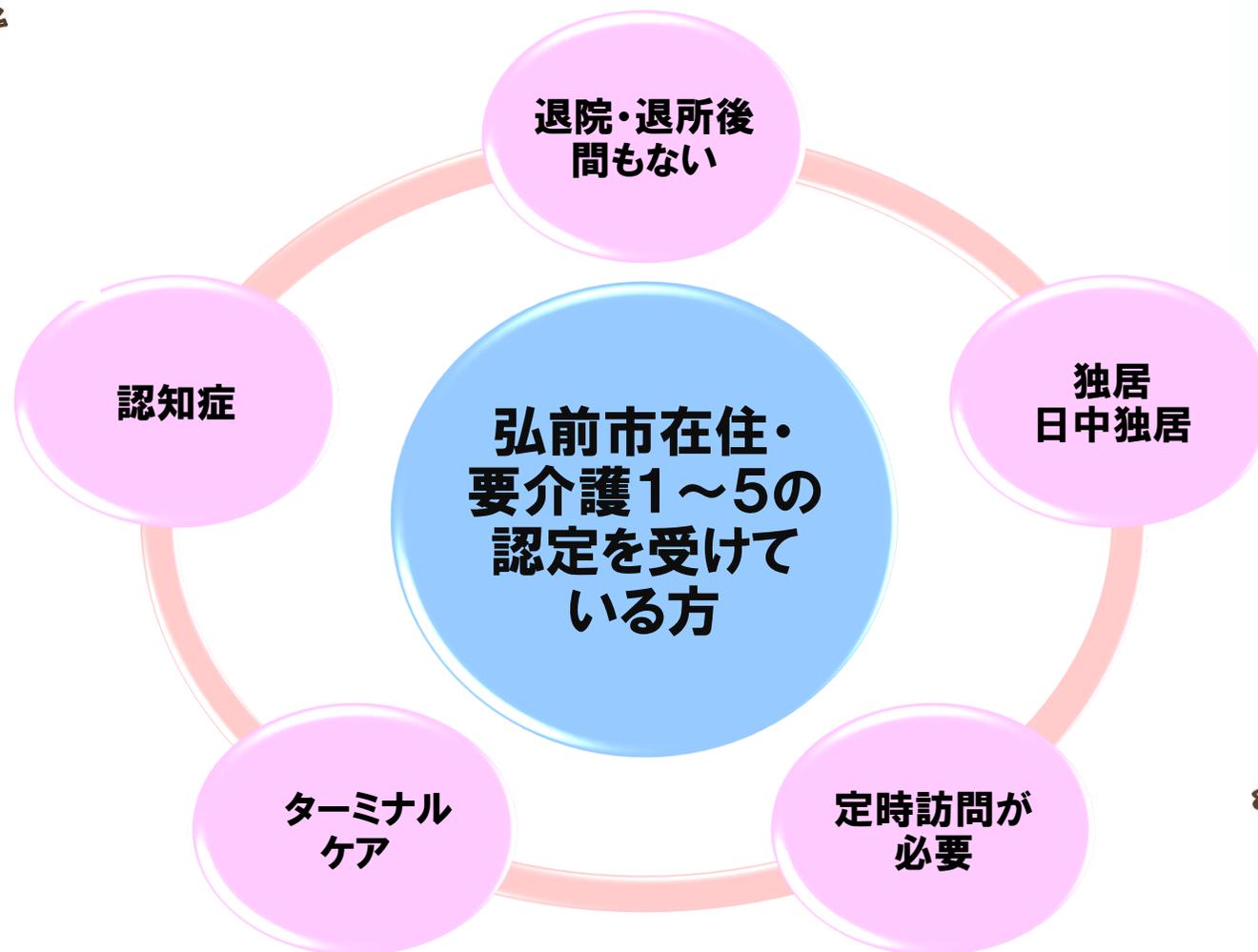
「**365日、ご自宅でこころのままに**」を理念にサービス提供しています。

【令和4年9月30日東奥日報掲載】

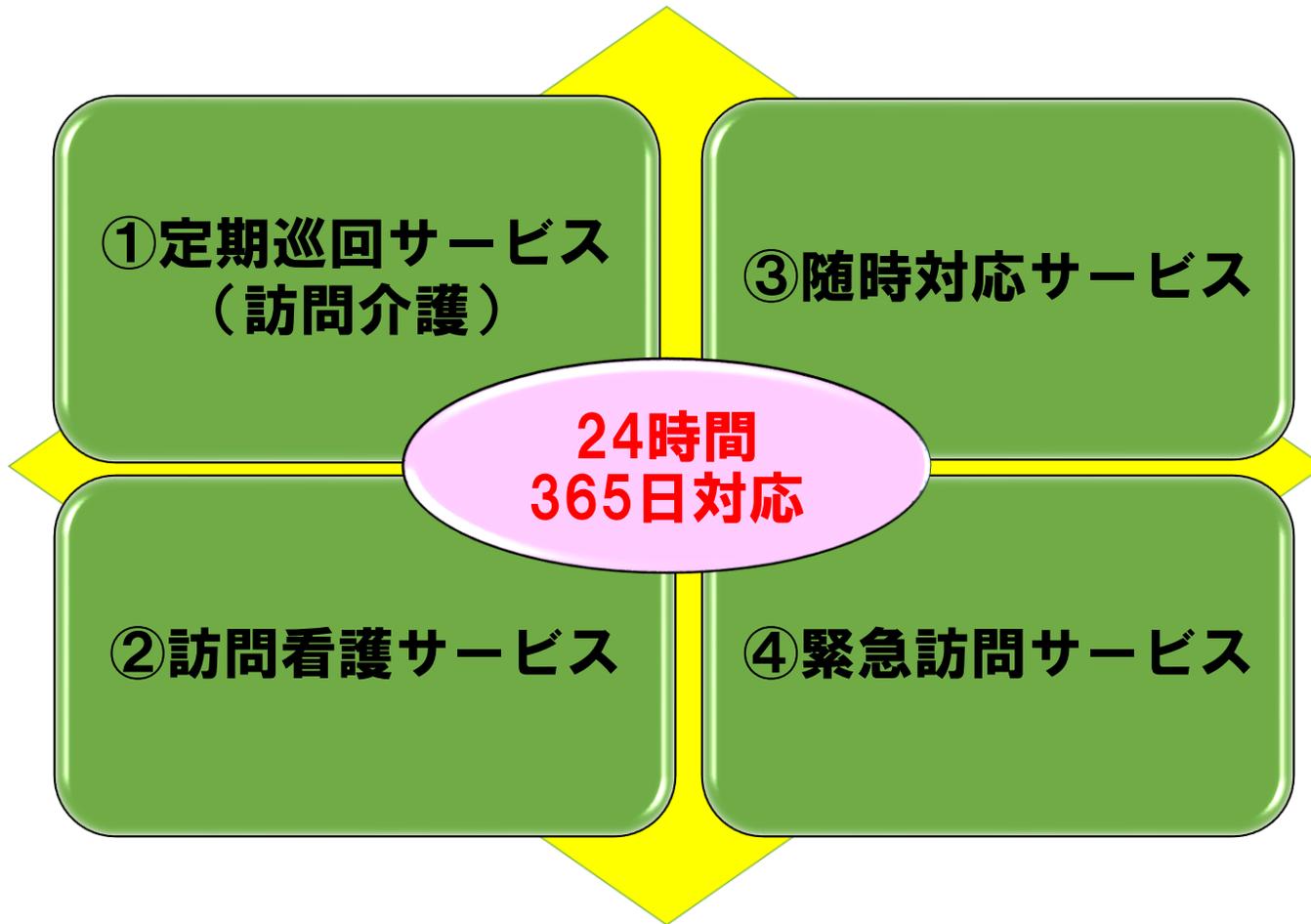


【令和4年9月4日陸奥新報掲載】

① 定期巡回サービスの利用対象者



②定期巡回サービスの特徴



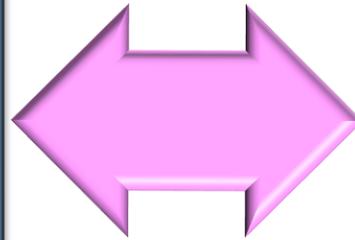
【緊急通報システムとキーボックス】



③訪問介護と定期巡回サービスの違い

【訪問介護】

- ・訪問時間・回数による算定
- ・訪問回数の制限あり
- ・ケアプランによる時間制限あり
- ・2時間ルールあり
- ・看護師によるアセスメントなし
- ・予定にない訪問はケアマネジャーに連絡が必要
- ・緊急通報システムとの連動なし
- ・利用状況の確認が難しい



【定期巡回】

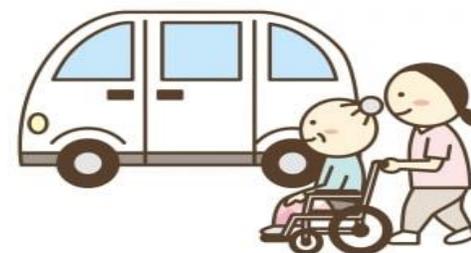
- ・**定額報酬制度**
- ・1日**複数回の訪問**可能
- ・ケアプランによる時間制限なし
- ・**2時間ルールなし**
- ・看護師によるアセスメント実施
- ・事業所判断や本人希望による**随時対応**が可能
- ・**緊急通報システムと連動**
- ・利用状況や実績の確認が容易

④定期巡回サービスの介護報酬

	1割負担 (単位)	通所 利用減算 (単位)	短期入所 利用減算 (単位)	初期加算	当社加算 (限度額範囲外)	訪問看護利用 (単位)
要介護1	5697	-62	-187	1日30単位 × 開始日から 30日間	<ul style="list-style-type: none"> ・総合マネジメント加算 (月1000単位) ・サービス提供強化加算 (月640単位) ・処遇改善加算Ⅰ (総単位数×13.7%) ・特定処遇改善加算Ⅱ (総単位数×4.2%) ・ベースアップ加算 (総単位数×2.4%) 	2954
要介護2	10168	-111	-334			
要介護3	16883	-184	-555			
要介護4	21357	-233	-703			
要介護5	25839	-281	-850			3754

⑤ 定期巡回サービス利用時の制約

- ・現在利用している訪問介護や訪問看護の切り替えが必要となる。
- ・サービス利用限度額の関係上、他のサービス利用が制限される。



⑥よくある質問

介護度に応じた訪問回数の制限はありますか？

- ・回数制限はありません。利用者様の状態に応じたサービス提供が可能です。

サービスを利用すると担当しているケアマネジャーが変更になりますか？

- ・ケアマネジャーの変更はありません。そのまま担当して頂きます。

サービス提供の範囲はありますか？

- ・随時コールから概ね30分以内に当事業所から駆け付けられることが条件となっています。

独居の方のみが対象ですか？

- ・同居家族がいてもサービス利用可能です。個別ケースで対応します。

他のサービスとの併用は可能ですか？

- ・通所系・短期入所・福祉用具・訪問入浴等併用できます。乗降介助との併用も可能です。訪問介護の身体介護や生活援助との併用は基本的にできません。

⑦定期巡回サービス導入後の声

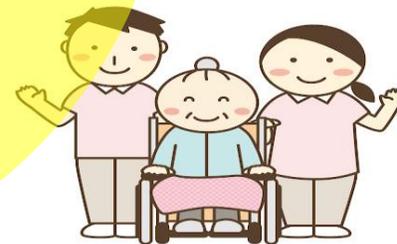


【ケアマネジャー】

- ・利用者様の体調の変化生活の様子やニーズが細かく知ることができる。
- ・随時対応や随時訪問をしてくれるので安心。
- ・事業所や医療従事者との連携がとりやすい。
- ・報告書等FAXのやり取りがないので助かる。

【利用者様・ご家族様】

- ・住み慣れた自宅で安心して生活できる。
- ・家族不在の時も安心。
- ・緊急通報システムがあるので安心。
- ・生活リズムに合わせて訪問してくれる。
- ・随時訪問など柔軟に対応してくれて助かる。



⑧スマケア記録

11月2日(水) 07時13分 08時54分	特記① バイタル確認、体温高目。便失禁有り、ご家族様ご協力して頂き、リハビリ、パット交換、臀部洗浄、軟膏塗布。着替えをして、車椅子にて居間に行き朝食。ご飯、お味噌汁、魚の煮付け、筋子、醤油昆布、塩辛を食べられました。少食だが、味噌汁完食。口腔ケアし、ベッドへ横になるが、尿失禁有りリハビリ、パット、下衣交換する。声掛けしサービス終了。
11月2日(水) 11時46分 13時09分	特記① 声掛けし部屋に入室。シーツまで尿汚染有り。リハビリ、パット交換、下衣交換。シーツ、タオル、尿取りシート交換。車椅子に移乗し、居間で昼食介助。うどん、おにぎり、味噌汁、りんごを食べる。少食。口腔ケアしベッドへ横になる。午後Dr.が来るから、身だしなみを気にしておりました。声掛けし、後片付けし、玄関に行くと、ご家族様がお帰りになりましたので、挨拶をしサービス終了。
11月2日(水) 14時00分 14時31分	特記① 往診があり、同席するために訪問。 足の発赤は現在の処置を継続してほしいとの事。子宮脱やおむつのかぶれにもアズノールの塗布してほしいとあり。血尿は、濃縮尿のようだが、発熱もあり、膀胱炎かもしれないので、薬を処方してみるとの事でした。 現在、お茶を飲んでいるが、カフェインが含まれているため、できれば水やスポーツドリンクを飲ませた方が良いとアドバイスあり。食欲も低下していることを伝え、様子を見るようにとの事です。 次回は11/16に訪問予定です。

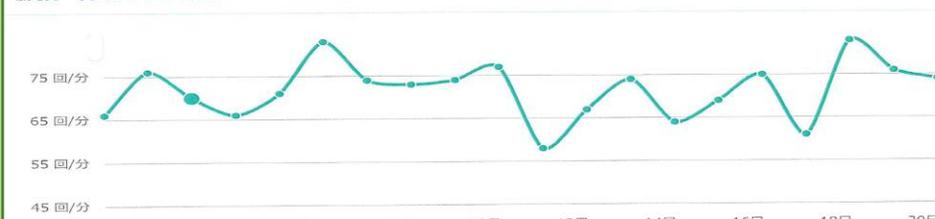
血圧 (令和4年11月)



体温 (令和4年11月)



脈拍 (令和4年11月)



【導入事例①】

・80代男性。要介護2。家族と2人暮らし。家族が仕事の際は日中独居。脳梗塞後遺症による右片麻痺あり。退院後、自宅での生活を希望されサービス利用開始。

自宅内の移動は車いすを使用。掴まりながら短距離歩行可能だが、転倒の危険性あり。家族不在の際、配下膳と服薬確認、後片付けのサービスを実施。デイサービスは木曜・日曜の週2回利用。福祉用具で車椅子、特殊寝台、手すりをレンタル。

12:00～

・安否確認・バイタルチェック・配下膳・見守り・服薬確認・後片付け

17:00～

・安否確認・配下膳・見守り・服薬確認・後片付け・口腔ケア

デイサービス利用時8:00～

・安否確認・外出準備・戸締り確認



【利用後の生活の様子】

- ・サービスはご家族様不在の際に実施。
- ・食事はご家族様が準備してくれたものを提供。食事中、一度、むせることがあったが、それ以外は特に問題なし。
- ・デイサービスでリハビリを意欲的に取り組み、現在は食事を右手で摂る練習を行っている。歩行も少しずつできるようになっている。トイレまでは掴まりながら移動している。
- ・バイタルは安定。服薬も飲み忘れなく実施できている。
- ・自宅内での転倒もなく、緊急通報の利用なし。

【導入事例②】

・80代女性。要介護3。1人暮らし。左腎がん転移で第7胸椎転移性腫瘍により両下肢麻痺あり、車椅子生活。車椅子は自走可。移乗は見守り。退院後、ショートステイ利用。ご本人様から「施設に入るのではなく、自宅で生活したい」と強い希望あり、ショートステイ退所後、サービス利用開始。

月曜・木曜、週2回デイケアを利用。福祉用具にて特殊寝台と車椅子、トイレの手すりをレンタル。定期通院は乗降介助を利用。

毎朝 7:15～

・安否確認・足浴・軟膏塗布・更衣介助・ゴミ出し

月・水・金・土 11:00～

・買い物代行・掃除・洗濯

毎夕 18:00～

・安否確認・戸締り確認



【利用後の生活の様子】

- ・現在、病状は安定。胸椎コルセットも外れる。通院も定期的を実施。
- ・デイケアで意欲的にリハビリに取り組み、立位は安定。掴まりながら短距離の歩行は可能。
- ・サービス利用開始直後は不安からか、精神的に不安定で、担当ヘルパーに怒ったり、きつい言葉をかけることもあったが、現在は落ち着いて生活している様子で暴言等も少なくなっている。生活に対する意欲もあり、調理も積極的に行っている。
- ・服薬もご自身がきちんと管理され、飲み忘れなく服用できている。
- ・サービス利用後、自宅内での転倒し、緊急通報が数回あり。ケガ等は無し。

【導入事例③】

・90代男性、要介護5。1人暮らし。寝たきり状態。バルンカテーテル留置。食事摂取できなくなり、胃ろう造設を勧められるも、ご本人様、ご家族様共に拒否。最期は自宅で生活させてあげたいと、ご家族様から希望あり、サービス利用開始。自宅に戻れば、ご家族様が一緒に生活する。

訪問看護(定期巡回)週2回。福祉用具で特殊寝台レンタル。週1回、往診。

毎朝 7:30～

・おむつ交換・体位交換・水分補給・服薬介助・バイタルチェック・尿量チェック

毎昼 12:00～

・おむつ交換・体位交換・水分補給・清拭(希望時)

毎夕 16:00～

・おむつ交換・体位交換・水分補給



【利用後の生活の様子】

- ・喀痰吸引はご家族様と訪問看護師が対応。ご家族様も介護は初めてなので、相談や助言を行いながら対応する。食事介助はご家族様が基本的には対応する事になっているが、できない場合はヘルパー対応。
- ・ご本人様も、自宅に戻られて嬉しそうな様子。昔話等会話もあり。
- ・介助の際も拒否見られず、協力動作あり。食事も数口しか摂取できないが、介助すると摂取してくれる。
- ・ご家族様にも、困ったことがあったら、いつでも連絡(緊急通報)するように話す。

【MEMO】